

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画

5か年の実績 概要(平成26~30年度)



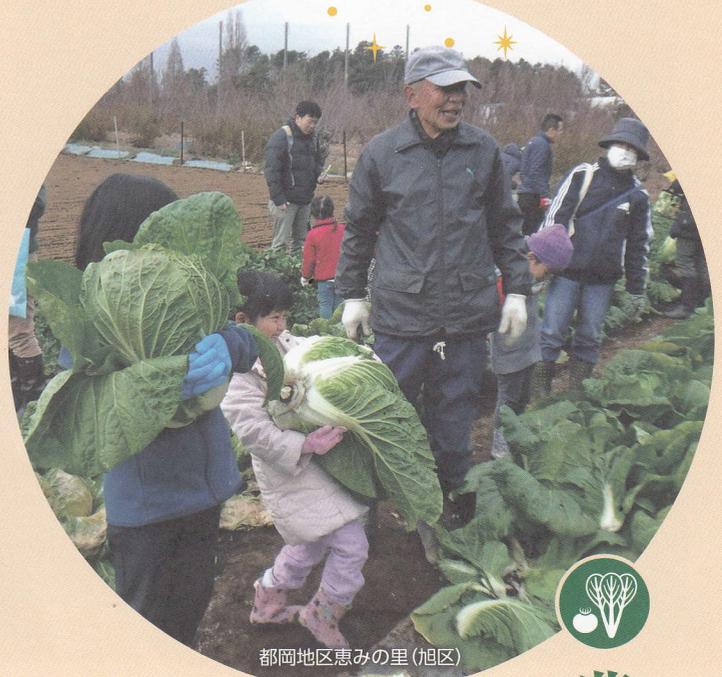
横浜の緑、育っています!



舞岡ふるさとの森(戸塚区)



森を育む



都岡地区恵みの里(旭区)



農を感じる場をつくる



山下公園(中区)



磯子・岡村地区(磯子区)



緑をつくる

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。横浜市では、平成26~30年度の5年間を振り返り、「横浜みどりアップ計画」の事業・取組の評価・検証を行いました。このリーフレットでは、その概要版として5か年の事業の実績をまとめています。





取組の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む



森の保全が進展

特別緑地保全地区、市民の森などの制度による指定を積極的に進め、**378.4ha**を指定。また、特別緑地保全地区などの指定地で、土地所有者の不測の事態などによる買入れ申し出に対応し、**105.6ha**を買取りました。

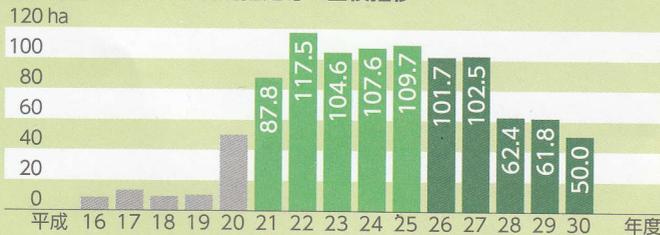
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り



新規指定した源流の森保存地区(青葉区)

土地の買取りをした特別緑地保全地区(泉区)

緑地保全制度による新規指定等の面積推移



みどりアップ計画スタート

森への関わりが広がり、深まる

森に関わるきっかけとなるイベントを開催したほか、愛護会などと連携しながら生物多様性の保全や利用者の安全確保など、良好な森を育成するための取組を進めました。

森づくりガイドライン等を活用した森の育成

森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者の安全などに配慮した森づくりを**723か所**で推進

樹林地維持管理助成

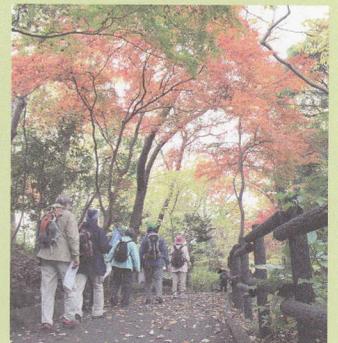
緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部の危険・支障樹木のせん定や伐採などの維持管理作業を**477件**支援

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内の樹林等で活動する団体の森づくり活動をのべ**179回**支援



森づくりガイドライン等を活用した森の育成(金沢区)



みどりアップ健康ウォーキング(南区)



取組の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる



市内の水田を保全

水稲作付の10年間継続を条件に土地所有者へ奨励金を交付し、貴重な農景観である水田を**117.5ha**保全しました。



保全された水田(栄区)

良好な農景観の保全が進展

農業者団体が実施する農地周辺の維持管理の取組を支援したほか、意欲ある担い手に**130.3ha**の農地を長期に貸し付け耕作されたことで、良好な農景観が保全されました。



地域団体による水路清掃(瀬谷区)

農とのふれあいの場が着実に増加

様々な市民ニーズに応じた多様な農園を**23.7ha**開設したほか、直売所等への支援や農体験教室の開催を進めました。

様々なニーズに合わせた農園の開設

収穫体験から本格的な農作業まで、多様な農園の開設支援や整備を推進



収穫体験農園(旭区)

地産地消にふれる機会の拡大

市内産農畜産物の直売所等の整備や青空市の運営支援を推進



直売所等の支援(緑区)



農園付公園(神奈川区)

横浜農場の展開

「横浜農場」とは、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を一つの農場として見立てた言葉です。「横浜農場」を活用し、横浜の農の魅力をPRしています。





取組の柱3

市民が実感できる緑をつくる



緑のまちづくりが進展

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、47地区の市民と協働して進めました。



中之丸地区(港南区)



新横浜二丁目地区(港北区)

北寺尾地区の「鶴見「みどりのルート1」をつくる会」が、第38回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞しました。

取組前



北寺尾地区(鶴見区)

取組後



緑や花で街の賑わいを創出

都心臨海部において、花や緑による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開しました。全国都市緑化よこはまフェアや、「ガーデンネックレス横浜2018」の会場としても活用し、多くの方にお楽しみいただきました。



新港中央広場(中区)



日本大通り(中区)

緑の少ない区に 緑豊かな公園を開設

公有地化によるシンボリックな緑の創出
緑の少ない区(鶴見、神奈川、西、中、南など)において緑豊かな公園の整備により街の魅力や賑わいづくりにつなげました。



伊勢町もくせい公園(西区)



下野谷町三丁目公園(鶴見区)

効果的な広報の展開

みどりアップ計画の取組内容や実績について、様々な方法で広報しました。

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績概要リーフレットの自治会・町内会回覧
- 電車・バスなどの交通広告
- イベントでのPR
- メールマガジンやSNSによる情報発信



電車の広告



イベントでのPR(保土ヶ谷区)



PRアニメーションの映画館等での上映

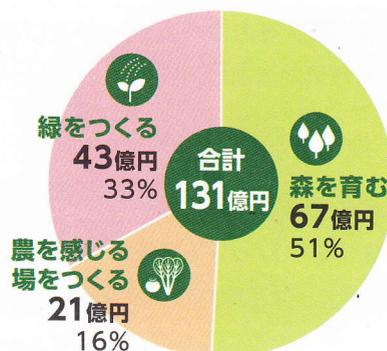


事業費と横浜みどり税(平成26~30年度の累計)

平成26~30年度の事業費:450億円
(みどり税充当分:131億円)

※決算見込額

平成26~30年度に使われたみどり税



みどり税の使い道

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税の課税方式

- 個人 市民税の均等割に年間900円を上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く。
- 法人 市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ



横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画の評価・提案、市民の皆さんへ情報提供をする、市民参加の組織です。現地調査や会議を実施するほか、広報誌を編集・発行しました。また、計画の推進に向けた評価・提案などを毎年報告書としてまとめました。

市民推進会議

検索



全体会議の様子



現地調査(調査部会)「みどりアップを見に行こうツアー」(左:都筑区、右:青葉区)



広報誌「みどりアップQ」

2019年4月から3期目となる「横浜みどりアップ計画」がスタートしています。

横浜みどりアップ計画[2019-2023]の概要



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ 森を育む

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



みどりアップ健康ウォーキング(緑区)



計画の柱2 市民が身近に 農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



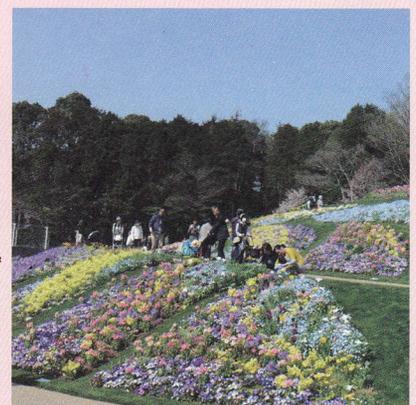
保全された水田(緑区)



計画の柱3 市民が実感できる 緑や花をつくる

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑花りょくかによる魅力ある空間づくりを推進



里山ガーデン(旭区)

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組んでいます。

「横浜みどりアップ計画」の5か年の評価・検証及び計画書は、横浜市ホームページ及び次の場所で閲覧できます

- 各区役所広報相談係
- 市民情報センター(市庁舎1階)
- 環境創造局政策課

横浜みどりアップ計画

検索



問合せ

「横浜みどりアップ計画」について

環境創造局政策課

TEL.045-671-4214 FAX.045-641-3490

「横浜みどりアップ計画」の各事業について

環境創造局みどりアップ推進課

TEL.045-671-2712 FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について

各区役所税務課または財政局税務課

TEL.045-671-2253 FAX.045-641-2775